



横浜市立一本松小学校

12月号

# 学校だより

令和5年11月30日  
横浜市立一本松小学校  
校長 高桑 透

## 笑顔がつなぐチーム一本松

校長 高桑 透

先週土曜日に、一本松まつりを行いました。一本まつりは、学校・保護者・地域が一体となって子どもたちのため力を合わせて、長い間続けてきた本校にとって大切な行事です。何年も続けてきたエネルギーの源は子どもたちの笑顔だと感じました。

午前の部の「学習発表会」について、子どもたちに伝えた私の感想です。

3456組・・・からだ全体を使って表現したボディーパーカッションは、観ている子どもたちも、思わず一緒にからだを動かしてしまうくらいリズムが揃っていました。合奏では、学年に合わせて楽器を選び、構成を工夫して楽しい演奏に仕上げました。

1年生・・・入学してから発見して学んだことをキラキラとして大きな声で発表しました。初めてのステージでしたが、合奏も歌もリズムを揃えて、まとまりのある発表をすることができました。

2年生・・・おまつりにふさわしい楽曲で、威勢の良い掛け声とリズムで、会場を盛り上げました。発表している自分たちも楽しんでいる様子が伝わりました。

3年生・・・気持ちをひとつにしてステージを成功させるという意気込みが強く伝わりました。3年生になってから学習したリコーダーも、きれいな音色で演奏することができました。

4年生・・・響きのある歌声と、きれいな音色のリコーダー、どちらもきれいなハーモニーを奏でていました。お互いの音を聞き合いながら演奏したことで、一体感が感じられました。

5年生・・・リズムをとるのが難しい合奏では、しっかりと自分の役割を意識して演奏することでリズムがピタッとあっていました。地球の平和を願う気持ちが伝わってくる素敵な響きの合唱でした。

6年生・・・学習を通して大切だと気付いた「命のつながり」をテーマに、歌、言葉に気持ちを込めて表現していました。これからの生き方（何億年も前からつながってきた命をどう使っていくのか）を考えて、表現しました。最上級生として下級生への素敵なメッセージとなりました。

どの学年の発表にも、たくさんの温かい拍手をいただきました。最後に礼をして拍手を受けたときの、子どもたちの笑顔や達成感にあふれた顔がとても印象的でした。

午後の部「まつり」では、初めに、各地区の会長さんに見守っていただきながら、先輩たちから受け継いできた地域ごとのおみこしを担ぎ、校庭での練り歩きは大いに盛り上がりました。また、体育館や北校舎では、丁寧な準備がされたブースがたくさんありました。子どもたちは、たくさんのブースの中から、自分の興味があるものにどんどんチャレンジし、時間ギリギリまで楽しんでいる様子がありました。子どもたちにとって充実した時間になったことについて、感謝の気持ちで一杯です。

一日を通して、子どもたちの笑顔ももちろん印象に残ったのですが、子どもの笑顔を見ている保護者や地域の方々が、みなさん笑顔になっていることに気づきました。ブースで子どもたちのために活動してくださっている方々は、本当は大変だったと思いますが、それでも笑顔で楽しそうでした。子どもたちの笑顔が、保護者、地域、学校を繋ぎ、チーム一本松のエネルギーになっているのだと実感しました。この笑顔をこれからも大切にしていきます。皆様、本当にありがとうございました。